

Talks with Thomas.



Winter culture in Europe

Hello! 国際交流員トーマスです。

今回は、活気に満ち、魅力的なヨーロッパの冬の文化についてお伝えします。どのようなイベントがあり、休暇中の人々は何をしているのか、そしてヨーロッパの食事はどんな様子でしょうか。

1. クリスマスマーケット

11月末から12月25日まで、ヨーロッパのクリスマスマーケットは木製の屋台、お土産店、そしてクリスマスキャロルで賑わっています。友達と集まったり、パートナーとデートに出かけたりします。寒い中で一緒にいて、グリューワインやホットチョコレートを飲みながら特別なひとときを過ごします。

冬休みにヨーロッパを訪れる予定があるなら、ブダペスト、プラハ、またはブカレストなど、東ヨーロッパのクリスマスマーケットに行くことをお勧めします。なぜなら、これらの国ではキリスト教の影響が非常に強く、伝統的なクリスマスマーケットを楽しむことができ、また、西ヨーロッパと比較して物価が安いからです。

2. クリスマスイブとクリスマスデー

ヨーロッパの多くの家庭では、12月24日と25日に大きな祝宴を準備します。日本とは異なり、ヨーロッパではクリスマスにフライドチキンを食べません。代わりに、ローストチキンや七面鳥を用意します。祝宴は昼から夜遅くまで続きます。また、プレゼントの交換も家族と行います。



3. 大晦日

私の故郷のベルギーでは、12月31日に教会を訪れることがあまりありません。バーとクラブでパーティーが開かれ、深夜のカウントダウンが始まり、時計が午前0時を打つと、お互いに新年おめでとうと言ひ合い、ハグをしてお祝いします。多くの場所では花火も打ち上げられ、朝まで踊り続けます。



4. アイススケート

ヨーロッパの冬のアクティビティの一つは、アイススケートです。ヨーロッパ中にアイススケートリンクがあります。最も有名なものは、オーストリアのウィーンにあり、毎年数千人がそこで滑るために訪れます。この写真は、私が住んでいたルーヴェンという街の池です。毎年、私は家族と一緒に、この凍った池にスケートにいきました。

5. 冬のスポーツ

スキーやスノーボードはヨーロッパで非常に人気があります。大陸に多くの山脈が広がっているため、多くの人は冬に約2週間の休暇を取り、スキーやスノーボードに行きます。私も子どもの頃、オーストリアとチェコ、フランスのアルプスにスキーをしに家族と行きました。

